

列伝JAPAN TOURから各年の代表バンドが登場！ニューカマーアーティストも！  
スペースシャワー列伝15周年記念公演 特別編“大大大宴会”～西の宴～  
THE BAWDIES / plenty / クリーブハイブ / SHISHAMO  
Age Factory / ププブランド / 夜の本気ダンス

株式会社スペースシャワーネットワーク(本社:東京都港区、代表取締役社長:清水英明)が運営する日本最大の音楽専門チャンネルスペースシャワーTVは、「スペースシャワー列伝15周年記念公演 特別編“大大大宴会”～西の宴～」を開催いたしました。

2001年4月にスタートしたスペースシャワー列伝が15周年を記念して“大大大宴会”を開催！メインアクトには、過去8回開催された伝説的ライブツアー 列伝JAPAN TOURから各年の代表バンドが登場！ニューカマーアーティストも交え、7組が熱演！列伝史上、最大の宴で新たな伝説の誕生！

THE BAWDIES / plenty / クリーブハイブ / SHISHAMO  
Age Factory / ププブランド / 夜の本気ダンス

つきましてはライブレポート、セットリスト、およびライブ写真素材をお送りいたしますので、是非貴媒体で取上げていただけたら幸いです。ご検討の程、何卒宜しくお願い致します。



THE BAWDIES



クリーブハイブ



plenty



SHISHAMO



Age Factory



ププブランド



夜の本気ダンス

Photo by  
JUNYA S-STEADY  
HOSHINA OGAWA

＜イベント開催概要＞

スペースシャワー列伝15周年記念公演 特別編“大大大宴会”～東の宴～

2015/9/22(火・祝) 東京・新木場STUDIO COAST

【メインアクト出演(列伝TOUR出身バンド)】

NICO Touches the Walls / the telephones / グッドモーニングアメリカ / THE ORAL CIGARETTES

【ニューカマーアクト出演】Halo at 四畳半 / Bentham / PELICAN FANCLUB / LILI LIMIT

スペースシャワー列伝15周年記念公演 特別編“大大大宴会”～西の宴～

2015/10/3(土) 大阪・なんばHatch

【メインアクト出演(列伝TOUR出身バンド)】THE BAWDIES / plenty / クリーブハイブ / SHISHAMO

【ニューカマーアクト出演】Age Factory / ププブランド / 夜の本気ダンス

【WebサイトURL】[sstv.jp/retsuden](http://sstv.jp/retsuden) 【Twitter】@retsuden\_sstv

【主催・企画】スペースシャワーTV 【制作】スペースシャワーTV / Livemasters Inc.

【運営】ディスクガレージ / 清水音楽

**ライブ&ドキュメンタリーをスペースシャワーTVにてオンエア！**

スペースシャワー列伝15周年記念公演 特別編“大大大宴会”～東の宴/西の宴～

【初回放送】11月27日(金) 23:00～24:30 【リピート放送】12月予定

◆**オフィシャルライブレポート**

スペースシャワーTV主催のライブイベント「スペースシャワー列伝15周年記念公演“大大大宴会”～西の宴～」が、10月3日(土)に大阪・なんばHatchにて開催された。

これは2001年にスタートして以来、現在では若手アーティストの登竜門とも言われる人気イベント「スペースシャワー列伝」の15周年を記念した特別企画である。出演者には、過去の「スペースシャワー列伝JAPAN TOUR」に参加したTHE BAWDIES、plenty、クリープハイブ、そしてSHISHAMOがメインアクトとして名を連ね、更に次世代を担う「ニューカマーアクト」として、関西からシーンを席巻中のAge Factory、プブブランド、夜の本気ダンスら3組がサブステージに出演。スペシャアプリで生配信される中、しのぎを削る熱いライブが繰り広げられた。

メインステージのトップバッターを務めたのはSHISHAMO。しっとりとしたナンバーの「花」でイベントの幕が開けると、吉川美冴貴の力強いドラムに合わせ「生きるガール」へと続く。MCでは、宮崎朝子(Vo, G)が「今日は『列伝TOUR2014』代表として出させて戴きます！」と決意を露わに、「あまり対バンとかもしないし、同じバンドでツアーを回ることもなかったのいい経験になって成長することができました。あと、友達も少ないので、フェスで会ったりした時に話せるバンド仲間ができて嬉しい！」と、当時を笑顔で振り返った。和やかなMCとは打って変わって、ひと味違ったメロウな魅力で観客を引き付けた最新シングル「熱帯夜」から、「僕に彼女ができたんだ」など骨太な楽曲を立て続けに放つ。ライブ定番曲「タオル」では、観客が松岡彩(B)の合図に合わせて思い思いのバンドタオルを回すクライマックスも。SHISHAMOらしい心躍らせるポップさと、鋭いバンドサウンドが魅力的なステージだった。

SHISHAMOのステージから一転、奈良からの刺客 Age Factoryが男くさいライブで豪快にサブステージの先陣を切る。のっけから「プールサイドガール」、先月発売されたばかりのミニアルバムから表題曲「NOHARA」、「真空から」と、持ち味のオルタナ・サウンドを激しく轟かせた。清水エイスケ(Vo, G)は、夢に向かって毎日苦難と闘う同世代の観客たちに向けてメッセージを送り、今度は温かく包み込むようなメロディの「さらば街よ」を誠実に届ける。最後は、「ロードショー」を真直ぐ叫ぶように歌いあげ、ニューカマーらしい気概溢れるライブで観客の心にその名を刻んだ。

リハーサルで「理由」が披露されると会場の空気がピタリと静まり、転換中で談笑していた観客たちも自ずとステージの方を向く。独特の空気感で、一瞬にして息をのむステージに変えたのはplentyだ。1曲目「プレイヤー」から、研ぎ澄まされたサウンドにのせて、江沼郁弥(Vo, G)の高く繊細な声が貫く。江沼は「どンドン曲をやります」と一言だけ告げて、曲間で何かを語ることもなく次々とステージを展開していく。昨年、ドラムに中村一太が加わった新体制後の楽曲「よい朝を、いとしいひと」と「above」では、より磨きのかかったリズム隊が勢いを加速させ、バンドを初期から支える「梓」が歌われると観客も興奮のままに手を振り踊った。すると何も語らなかつた江沼が、感極まったのか「大げさアッ！」と不意に叫び、「最後になってから、こんなこと言ってみてね(笑)」とお茶目な様子もみせた。そのままラストの「蒼き日々」に至るまで、押し寄せるグルーヴに身を委ね続ける圧巻のライブとなった。

メインステージの迫力にも動じず、自分達の音楽を堂々と貫いたのは神戸発のプブブランド。軽快なフォークロック「メロ」に始まり、西村竜哉(Vo, G)のかすけた歌声がエモーショナルに染み渡る「BABY」を届けた。更に、この日から新体制として新たに迎え入れたサポートドラマーが、口火を切って「ミスタームーンライト」へと続く。このロマンチックなナンバーに合わせて、西村が思い立ったかのように「地元・六甲山の夜景に見立てた照明をお願いします！」とマイペースな演出で笑いを誘う。センチメンタルな歌詞とグッドメロディをしっかりと聴かせるライブは、人柄が滲み出ていて求心力があった。

巻き起こる特大の拍手喝采に迎えられ、クリープハイブがメインステージに登場。期待に応えるかの如く、1stアルバムから「イノチミジカシコイセヨトメ」、「手と手」、「愛の標識」が畳み掛けられると、会場の熱気は早くも沸点を超える勢いに！MCを挟んで「エロ」へと繋げるも、マイクトラブルに見舞われ曲中は尾崎の歌声が全く聴こえない状態に…。それでも尾崎は地声で堂々と歌い続け、メンバーもバンド演奏を止めずアグレッシブに鳴らす。そんな姿に胸を打った観客が大合唱でサポートして、ライブを一緒に作り上げるシーンは感動的だった。新曲「リバーシブルー」も披露し、尾崎は「『列伝TOUR2012』で回っている時は、考え事とか悔しい思いをする事が多くて。それでも、また列伝のステージに帰ってこれて、これだけの人が凄く盛り上がりってくれると『やってよかったなあ』と思います」と素直に感謝を伝え、「HE IS MINE」を捧げた。尾崎のハイトーンボイスが突き抜け、最高潮のままにステージを終えた。

サブステージのトリを務めたのは京都出身の4人組、夜の本気ダンス。キレのあるダンスチューン「WHERE?」に始まり、最新シングルから表題曲「By My Side」と軽やかなナンバー「Too Young」を放つと会場は瞬く間にダンスホールと化す。MCでは、鈴鹿秋斗(D)がスペースシャワーTVを長年熱心にチェックしていることを打ち明け、「僕の人生において、スペシャは無くしてはならない存在です！」と思いの丈を語った。そんなMCから「fuckin' so tired」では、米田貴紀(Vo, G)が本気ダンスと興奮の渦を巻き起こす。夜ダン印のダンスロックで、次世代を担うニューカマーとしての実力と存在感をみせつけた。

イベント全体の大トリを飾ったTHE BAWDIESは、1曲目「IT'S TOO LATE」から並々ならぬぬめ合いをみせ付ける。「『列伝TOUR2010』で対バン相手と本気でぶつかり合った、あの時の気持ちを思い出しながら、懐かしい曲をポンポンやります！」とROY(Vo, B)が宣言して、初期曲のメドレーで会場を湧かせる。10月28日発売のニューシングル「SUNSHINE」も披露され、光を射すように温かいミディアムテンポの楽曲が会場を包み込んだ。すると今度は、緩やかに執り行われた「巖流島の決闘」風の寸劇から、痛快なロックナンバー「HOT DOG」へとなだれ込む。追い打ちを掛けるように、「SING YOUR SONG」、「NO WAY」を畳み掛け本編が終了。アンコールでJIM(G, Cho)は、中学生の頃から「スペシャっ子」だと明かす。更に、「今日みんなの顔を見ていて、イベントも30周年まで続くと思ったね。俺みたいにスペシャを見ている中学生が、バンドを始めて、将来このステージに立って欲しい。この音楽の場を、これからもみんなで作ってこう！」と語った。アンコールを終える最後の瞬間まで、全身全霊を込めてぶつかるロックンロール精神でステージの幕を閉じた。

この日のライブ模様は、9月22日に開催された「スペースシャワー列伝15周年記念公演 特別編“大大大宴会”～東の宴～」と合わせて、11月27日(金)23:00～24:30にスペースシャワーTVにて放送予定。列伝史上、最大の宴を括目せよ！

Text by 大西健斗

◆**SET LIST**

- SHISHAMO 1. 花 / 2. 生きるガール / 3. 熱帯夜 / 4. 僕に彼女ができたんだ / 5. 僕、実は / 6. タオル / 7. 恋する Age Factory 1. プールサイドガール / 2. NOHARA / 3. 真空から / 4. さらば街よ / 5. ロードショー
- plenty 1. プレイヤー / 2. よい朝を、いとしいひと / 3. above / 4. 先生のススメ / 5. 待ち合わせの途中 / 6. 梓 / 7. 蒼き日々
- プブブランド 1. メロ / 2. BABY / 3. ミスタームーンライト / 4. ダンス・ダンス・ダンス / 5. ヘイガール、涙を拭いて
- クリープハイブ 1. イノチミジカシコイセヨトメ / 2. 手と手 / 3. 愛の標識 / 4. エロ / 5. おやすみ泣き声、さよなら歌姫
6. リバーシブルー / 7. HE IS MINE 8. 社会の窓
- 夜の本気ダンス 1. WHERE? / 2. By My Side / 3. Too Young / 4. fuckin' so tired / 5. 戦争
- THE BAWDIES 1. IT'S TOO LATE / 2. YOU GOTTA DANCE / 3. Medley (I BEG YOU ～ I'M IN LOVE WITH YOU ～ SHAKE YOUR HIPS)
4. SUNSHINE / 5. HOT DOG / 6. SING YOUR SONG / 7. NO WAY / En1. EMOTION POTION / En2. KEEP ON ROCKIN'

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社スペースシャワーネットワーク マーケティング部  
TEL:03-3585-3544 FAX:03-3585-3215 <http://www.spaceshowertv.com/>  
担当:宮田 維人 080-6860-3800 [miyata@spaceshower.net](mailto:miyata@spaceshower.net)